



## 浜松志耀ロータリークラブ 第11回例会

開催日時: 2023年7月6日(木) 午前7:30 ~ 8:30  
開催場所: オークラアクトシティホテル浜松 3階チェルシーの間

### ■会長挨拶

ロータリークラブ。そしてロータリアンとして今問われているもの、それはそれ自身日本人として、一人の人間として今の時代、問われているそのものではないでしょうか。2011年、今から12年前の東北地方を襲った未曾有の東日本大震災は、国難ともいえる事態を招き、産業・経済はおろか、一国の将来をも危ぶむ事態になりました。しかし、そのような甚大な被害に直面し、自らが耐え忍びがたい状況になろうとも、他人を思いやり、優しさを忘れず、あくまでも謙虚に、地域のために、献身的に努力する被災地の方々の姿を目の当たりにして、人間として本来あるべき姿を、また国の復興・成長のために、在る時代に置き去りにしてきた人間として一番大切なものを、改めて鮮明に思い起こさせて頂いたように思います。

“今こそ、新しいロータリークラブを求めるならば、まず自分自身を新しくせねばなりません” “新しい太陽を昇らせよう!” わが生命に! わがクラブに! わが地域に! 希望の夜明けは必ず到来します。自分が太陽となるのだ。自分の中に太陽はあるのだ。新しい「夜明け」を望んだ文人・島崎藤村は「太陽の言葉」の中でこう綴っています。「誰でもが太陽であり得る。わたしたちの急務はただただ眼の前の太陽を追いかけることではなく、自分たちの内部に高く太陽を掲げることだ」これは我々のロータリークラブ・ロータリアンにも通ずる言葉です。心が老いてはいけない。心が負けてはいけない。心くじけず、何事にも前向きに、誠実に行動しロータリークラブとしての活動や存在を内外に知らしめていこうではありませんか。

真実(ほんとう)に私たちが新しくなることができれば、1日いものはすでに毀れています。「自分を新しくする」非常に大事な視点であります。環境が変わらないと嘆くより、まず自らが変わることです。そうすれば、自ずとすばらしい将来あるロータリークラブへと生まれ変わっているはずで、私達は独善的ではなく常に謙虚で地域への礼儀を忘れない、その土地・その地域に受け入れられるには地域に対する尊敬と分かり合おうとする気持が大切なのだと思います。ロータリーは今一度原点に戻る必要があるように思われます。

我々の浜松志耀ロータリークラブは原点に戻り、生き生きとして明るさがあふれる耀きをもち、新たなロータリーを創造して参りたいと存じます。何卒、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。ありがとうございました。



### ■幹事報告

#### 1. セミナー

- ①地区会員増強セミナー 7/29(土)グランシップ 出席者:小澤、田淵
- ②米山記念奨学セミナー 7/30(日)ZOOM 出席者:対象者はメールにて通知
- ③地区ロータリー財団セミナー 8/5(日)グランシップ 出席者:村田、小川、柳生

#### 2. 会費の納入について

- ・メールにて請求書等を郵送

### ■委員会報告

#### 1. 大志育英委員会 「街頭募金活動実施(案)について」

- ・10/7(土)10時30分~13時30分 @浜松駅北口・遠鉄百貨店入口付近
- ・集まった募金は、浜松市社会福祉協議会へ寄付予定
- ・予定費用: a)道路使用許可2300円、b)のぼり旗作成費約6000円



### ■議事 「役員理事・理事・委員長就任挨拶」

以下の各委員長等より、今年度の活動等の挨拶があった。

1. 会長・長期戦略委員長	小澤邦比呂	7. 副幹事	西川公一郎
2. 副会長・会員維持増強選考委員長	加茂福史	8. クラブ管理運営委員長	松井進
3. 会長エレクト	小川善嗣	9. ロータリー財団委員長	村田誠
4. 会場監督	衛藤仁	10. 公共イメージ委員長	刑部雄作
5. 会計・奉仕プロジェクト委員長	小田享伸	11. 事務局総務	柳生七重
6. 幹事	田淵邦彦		

### ■米山奨学生奨学金授与

- ・会長より、李根さんへ奨学金を授与し、李根さんより近況報告があった。

### ■スマイル

- ①会長幹事より一新年度の挨拶
- ②刑部会員より一ゲスト参加者へ御礼
- ③衛藤会員より一新年度の挨拶

※出席率: 86.2%(会場18名+BAND 7名=25名/29名)

